

事業所名		多機能型事業所ポノ				支援プログラム		作成日		令和7	年	11	月	15	日	
法人（事業所）理念		お子様と保護者、指導者が楽しみと安らぎを共有できる雰囲気なかで、自ら好きなものを選び楽しみながら成長していく														
支援方針		「家庭的な環境で安心した生活ができる」をテーマに精神的、身体的機能を最大限に伸ばし、将来社会的自立ができるようになることを目標とした一人ひとりの発達段階に有った内容を考え、身近自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行います。保護者の方々と共に考えながら総合的に発達を促せるよう無理のない計画を立てて実施します。														
営業時間		8 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり			なし	
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	a. 健康状態の把握・・・自ら健康で安全な生活を作り出すこと、常に健康状態のチェック、意思表示が困難なこどもに気づける様きめ細やかな観察 b. 健康の増進・・・食事・睡眠・排泄等基本的生活習慣を身につける支援、調理体験などを通して食を営む力・情緒の育成と楽しい食事への配慮（感覚等）・支援（咀嚼、嚥下、姿勢等）、病気の予防や安全への配慮 c. 基本的スキルの獲得・・・身の回りを清潔にして、食事や衣類の着脱等生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する d. 構造化等により生活環境を整える・・・生活の中で様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える。また特性に配慮し時間や空間を本人に解りやすくする。														
	運動・感覚	a. 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上・・・姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化 b. 保有する感覚の活用・・・保有する視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊び等を通して支援する c. 感覚の補助及び代行手段の活用・・・保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう、環境や補聴器等を活用できるような支援をする d. 感覚の特性（感覚の過敏・鈍麻）への対応・・・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等支援														
	認知・行動	a. 感覚や認知の活用・・・視覚・聴覚等感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援 b. 知覚から行動への認知過程の発達・・・環境から情報を取得し、必要なメッセージを選択、行動に繋げる一連の認知過程の発達を支援 c. 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成・・・物や空間、時間等の概念の形成を図る事で、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援 d. 数量、大小、色等の習得・・・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得の為の支援 e. 認知の偏りへの対応・・・個々の特性に配慮し、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。こだわりに対する支援 f. 行動障害への予防及び対応・・・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる行動障害の予防と適切行動への対応の支援														
	言語 コミュニケーション	a. 言語の形成と活用・・・体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援（物や体験と言葉の意味を結び付ける等 b. 受容言語と表出言語の支援・・・言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり（需要）、自分の考えを伝える（表出）支援 c. 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・・・それぞれに配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上の為の支援 d. 指差し、身振り、サイン等の活用・・・指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達が出来よう支援する e. 読み書き能力向上の為の支援・・・発達障害等特性に応じた読み書き能力向上の為の支援 f. コミュニケーション機器の活用・・・絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、環境の理解と意思伝達が出来よう支援 g. 音声、文字等のコミュニケーション手段の活用・・・多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達が出来よう支援する														
	人間関係 社会性	a. アタッチメント（愛着行動）の形成・・・人間関係の意識と身近な人との親密な関係を基盤とした、周囲の人と安定した関係を形成するための支援 b. 模倣行動の支援・・・遊び等を通じて人の動きを模倣する事で、社会性や対人関係の芽生えを支援する c. 感覚運動遊びから抽象遊びへの支援・・・感覚や運動機能の遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の中小遊びを通して徐々に社会性の発達を支援 d. 一人遊びから共同遊びへ・・・一人遊び、並行遊び、連動的遊び、ルールを守って遊ぶ共同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援 e. 自己の理解とコントロールの為の支援・・・出来る事・出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整が出来よう支援 f. 集団への参加への支援・・・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する														

家族支援	a. 保護者面談（随時） b. 関係機関との連携 c. 子育ての悩みやきょうだい児支援などの相談 d. 保護者のレスパイトや就労等預かりニーズへの対応	移行支援	a. 進学、就労等環境変化に向けての課題提示及び本人支援の実践 b. 習得した行動を学校、家庭等で同様の行動が出来るよう般化を目指した支援 c. 金銭管理や家事スキルなど、自立した生活を送るための基本的スキル習得 d. 自分の強みや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援
地域支援・地域連携	a. 切れ目のない支援・・・関係機関との情報共有、合同会議、移行支援 b. 地域での孤立防止・・・地域の行事への参加・開催、地域住民との交流 c. 質の向上・・・地域支援ネットワーク（自立支援協議会など）への参加 d. 知識の普及・・・発達支援に関する地域住民、学校、保護者当への啓発活動	職員の質の向上	・外部研修（随時）、資格取得支援 ・ケーススタディを通じた勉強会や改善会議、PDCAサイクルの実践、評価とフィードバック ・社内研修①虐待・身体拘束防止研修②感染症に関する研修③防犯に関する研修④防災に関する研修⑤事故防止に関する研修
主な行事等	・各季節レク（夏祭り、クリスマス会、お誕生日会、季節製作等）の実施 ・外出レク（公共の場での過ごし方や買い物体験等）		